

令和5年度 第2回市民参加推進会議 議事録

1. 開催日 令和5年11月14日(火) 午前10時00分～午前11時30分

2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室

3. 出席者 (委員)関谷会長、野田副会長、友利委員、牧野委員
塩谷委員、木原委員、泉澤委員、丸山委員、木川委員
(事務局)増田部長、高柳次長、醍醐課長、大塚補佐
羽田主任主事、春本主事

4. 議事次第

- (1) 令和4年度市民参加に関する事業実施状況報告について
- (2) 市民参加に関する事業の実施状況調査票について

5. 配布資料

(会議資料)

資料2-1 令和4年度市民参加に関する事業実施状況報告について

資料2-2 市民参加に関する事業の実施状況調査票について

6. 議事概要

- (1) 令和4年度市民参加に関する事業実施状況報告について

■説明(事務局)

令和4年度市民参加に関する事業実施状況について報告を行い、実施状況から見える所見の説明を行うとともに、会議後、市ホームページに掲載を予定している旨、説明を行った。

■主な意見

委員：計画目標1-(3)団体相互の連携協力、計画目標4-(1)情報を生かす仕組みづくりが各1件の事業数となっている。この部分の事業数の少なさについてどのように捉えているのか、また今後の展望はあるのか。

事務局：事業数のばらつきは課題として認識している。

計画体系によっては推進が難しいものもあるが、中間支援組織である市民活動センターを中心に、まちづくり活動の強化に取り組んでいく必要がある。

また、全庁的にも多様な手法で市民参加を推進する事業展開が行えるよう、各課に協力を仰ぐ。

- 事務局：件数に反映されていない事業であっても、実際は実施している事業が複数あると思われる。
事業数の数え方についても工夫が必要と考える。
- 事務局：調査に回答するうえで各課の認識が統一されていないという意見が庁内からもあった。
今後は、記載漏れが発生しないように調査方法を検討する。
- 委員：実施状況報告書にある事業実績の記載方法について、日付だけでなく、人数や各課のコメント等を記載するように統一してはいかか。
- 事務局：事業実績についても担当課によって回答の仕方にもばらつきが見られるため、調査依頼を行う際に記載例を用意するなどして全庁的に統一が図られるように改善していく。
- 委員：各課の事業について、他団体と連携することで更に広がりができるのではないかと、より違った工夫が必要なのではないかと市民参加の観点で思索していくことが重要である。
手法ベースではなく、課題ベースとして考えていけるようになればよいのではないかと。
- 委員：調査をかける際に、ある程度書きやすいフォーマットを用意できればよい。
事業実績の記載統一の他にも、継続事業なのか、当該年度に終了してしまった事業なのかわかるようにすれば、この報告書を見た方が講座等の事業について興味を持った際に、参考にできるのではないかと。
- 事務局：総務課で事務事業評価として庁内調査を行っており、重複してしまう懸念がある。
事務局の中で、その区別をどうしていくか検討しなくてはならない。
- 委員：実績だけでなく、今後の事業展開などを考えていくと、地域も行政も変わっていくのではないかと。
そのためには、サポートセンターの拡充が挙げられる。
サポートセンターのスタッフが、個々の事業の現場にヒアリングを行い、情報収集や課題発掘、要望の汲み取りに併せて、庁内でも同じようにヒアリングを行っていく。
そこで得た情報を整理し各方面に発信するといった一連

の業務を行うことによって、実質的な拡充につながる。

事務局：職員内の市民参加の考え方については、より浸透させていく必要があると感じている。

全ての業務を行ううえで、ベースの考えにしなければいけない。

そのためにも、職員に向けた研修内容の充実化を図ってきたい。

委員：様々な研修を実施していく必要がある。

例えば、担当課として実施している、市民参加に関する事業の評価の仕方について学ぶ機会の提供も考えられる。

グループワークを取り入れた研修など多様な研修を取り入れるのもよいのでは。

(2) 市民参加に関する事業の実施状況調査票について

■説明（事務局）

第3期市民参加推進計画の進捗管理として、市民参加に関する事業の実施状況調査票から個別に深掘りを行う新規事業一覧について、事業の詳細を報告し、意見を伺った。また、今後の予定として、委員から意見シートを提出していただき、意見に対しての各課の回答を報告する旨、説明を行った。

■主な意見

委員：新規事業一覧の中に、市が当然行うべきものが新規として記載されている。

新たな手法を取り入れる工夫が見られるものであれば、新規として取り上げる理由になると思われる。

事実だけを書くのではなく何か工夫が必要なのでは。

委員：市民の資源だけでは、まちづくり団体の事業継続は難しく感じる。資金力のある民間事業者が参画できるような仕組みを導入すれば活動場所の確保や資金面での課題の解決につながるのでは。

- 委員：意見シートに意見を提案する範囲について、例えば流山市は事業内容の中身には触れず手法の部分のみを切り取り、そこについて意見を提出し担当部署にフィードバックしている。
- しかし、そのやり方はなかなか意見が出しにくいこともあると感じている。
- 事業内容も含めた範囲にしていくか検討する必要があるのではないか。
- 事務局：手法だけ切り取るとなると意見の提案が厳しいと考えられるため、委員の皆様には事業全般にわたりご意見いただきたい。
- 委員：調査票だけでは、事業の中身が見えにくい箇所もある。参考資料としてホームページなどで公開している事業概要を見ていただくと意見が出しやすくなるのではないか。
- 事務局：参考資料については検討していく。
- 委員：次年度以降は、会議開催前に質問シートに記入いただき、それに対する担当課の回答を踏まえたうえで意見を提案いただくほうが、より実質的なコメントが出せるのではないか。
- 事務局：そちらに関しても検討していく。

全ての議題及び会議の議事録については会長一任とすることを承認いただき会議を終了した。